



ソリューション概要

VMware Horizon View VDI対応のNetApp HCI

あらゆるユーザグループに適したVDI

NetApp HCI



卓越した拡張性

独立した拡張とQoSにより、リソースと容量の利用率を最大化し、TCOを大幅に低減



VDI対応

3,200人のVDIユーザへの対応に関する認定を受けた、IOmark-VDI標準ストレージのワークロード (Evaluator Group, 2019年)



きわめてシンプル

システム停止のない拡張とダウンタイムの解消により、管理時間を92%削減

図1) NetApp HCI for VDI

多くの企業が仮想デスクトップ インフラ (VDI) の直接的なメリットをすでに経験しています。短期間での導入などがメリットとして挙げられますが、それにより、より厳しいSLAを満たし、データ保護を改善することができます。VDIによるコンピューティングの一元化によって、場所や時間、デバイスを問わず、ユーザはグローバルにアクセスできます。

VDIの実装が始まった当初によく導入されていたアプリケーションは、負荷が小さいものであり、CPUに対する需要は最小限でした。このような初期のVDI導入では、クライアント環境とアプリケーションを個別に維持し、デバイス上のデータを保護し、別の場所からのアクセスを可能にすることが主に求められていました。アプリケーションが仮想化され、VDIによってコンピューティング環境の設置面積が縮小されることで、データセンターのセキュリティ、アクセス性、柔軟性、管理性というメリットも追加されました。

第1世代のVDIは、複数の場所からのタスク ユーザのアクセスが可能になると同時に機密データが保護されるので、大いに役立ちました。第2世代のVDIへ完全に移行した今、パワーユーザから負荷の高いアプリケーションに関するニーズが生まれていることから、VDI機能に対する要求は変化しています。グラフィックスの表示品質の向上、パフォーマンスの強化、仮想ワークステーションへの拡張といった要求は、負荷の軽いVDIアプリケーションの時代が去ったことの表れです。

医療、石油 / ガス探査、映画やメディア、自動車などの業界では、3Dグラフィックスや大量のリソースを必要とするアプリケーションが求められるようになっており、VDIテクノロジーの採用が急速に進んでいます。データ保護とストレージ管理の要件は依然として重要ではあるものの、次世代VDIでは、コンピューティング、ネットワーク、ストレージに加えてグラフィックスの要素も含める必要があることは明らかです。次世代VDIでは、単にグラフィックス コンポーネントを追加するだけでなく、動的なグラフィックス機能が必要とされます。グラフィックスが多用される組織とそうでない組織があるため、さまざまなエンタープライズ ユーザとさまざまなVDIアプリケーションのニーズを満たせる柔軟なストレージソリューションに対する需要が高まっています。

NetApp HCIは、拡張性に優れたアーキテクチャのハイブリッド クラウド インフラで、拡大するVDIへの要求に3つの方法で対応します。第1に、NVIDIA GPUを使用して、ハイパフォーマンスアプリケーションの要求や、グラフィックスを多用するワークロードへのニーズの高まりに対応します。第2に、求められるユーザ エクスペリエンスを提供できるようにアプリケーションに合わせてリソースをカスタマイズする必要があることから、NetApp Element®ソフトウェアによってQoS (サービス品質) を確保します。Elementソフトウェアが実現するQoSによって、すべてのVDIワークロードを柔軟なアーキテクチャの元で管理できるため、ブートストームが他のアプリケーションやユーザ エクスペリエンスに影響することはありません。第3に、NetApp HCIでは、現在必要な規模から運用を始められるため、コストやデータセンターの設置面積の管理に役立ちます。NetApp HCIは、CPUがストレージから切り離されているので、どのようにでも拡張することができます。

NVIDIA GPUを搭載したVMware Horizon VDI対応のNetApp HCI



図2) NVIDIA GPUを搭載したVMware Horizon VDI対応のNetApp HCI

NetApp HCIを基盤とするVDIソリューション

NetApp HCIでは、組織のさまざまなユーザの要求に対応するため、NVIDIAとVMware Horizon Viewを組み合わせることで、タスクワーカー、ナレッジワーカー、3Dグラフィックスを扱うパワーユーザ向けのVDIソリューションを実現しています。エンドユーザは、タスクワーカーからパワーユーザまでの広範囲に広がっています。これらの検証済みソリューションによって、ユーザのタイプに関係なく、各自のデスクトップでパフォーマンスの低下を感じることはなくなるでしょう。

ネットアップがサポートするテクニカルレポートと検証済みアーキテクチャでは、ワークロードのオーケストレーションによってエンドユーザの満足度を高める方法を詳しく説明しています。

「NetApp HCIは、Evaluator GroupがテストしたあらゆるHCIシステムのほとんどのVDIインスタンスと、100万ドル未満のあらゆるHCI構成のほとんどのVMインスタンスで、拡張性に優れたパフォーマンスを提供できることを証明しました。NetApp HCIでは、データ削減を適用しながらこれらの記録を達成し、大幅な容量節約を実現しています。それに対し、競合する多くのHCIソリューションでは、ベンチマーキング中はデータ削減が無効化されています」

—Evaluator Group、2019年

NetApp HCI H400C :

- VMware End-User Computing with NetApp HCI (NetApp Verified Architecture設計)
- NetApp HCI for End-User Computing with VMware (NetApp Verified Architectureの導入)

NetApp HCI H610C :

- VMware End-User Computing with NetApp HCI and NVIDIA GPUs (NetApp Verified Architecture設計)
- NetApp HCI for End-User Computing with VMware and NVIDIA GPUs (NetApp Verified Architectureの導入)

NetApp HCI H615C :

- NetApp HCI for Virtual Desktop Infrastructure with VMware Horizon View

ネットアップについて

ネットアップは、ハイブリッドクラウド環境におけるデータ管理のオーソリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッドクラウドデータサービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、顧客との接触の強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。

ネットアップ合同会社

TEL:03-6870-7600 Email:ng-sales-inquiry@netapp.com

© 2019 NetApp, Inc. All rights reserved. NETAPP、NETAPPのロゴ、<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。SB-4008-0819-jaJP